

町水道へ切り替えませんか？

～水道加入金の減免を行っています(令和4年3月末まで)～

町水道の加入促進のため、井戸水等を使用している方が町水道に切り替える場合に、水道加入金を半額に減免しています。

期間限定となっていますので、ぜひこの機会に、町水道への切り替えをご検討ください。

<町水道にはメリットがたくさんあります>

- ・定期的に、水質検査(毎月)、放射性物質検査(年4回)を行っている、安全で安心なお水です。
- ・井戸水のように、地下水が減って出なくなる心配がありません。24時間、安定して水道水を利用できます。停電時にも利用できます。
- ・井戸水のポンプやモーター等のメンテナンスが不要です。給湯設備等が井戸水に比べ長持ちする傾向にあります。

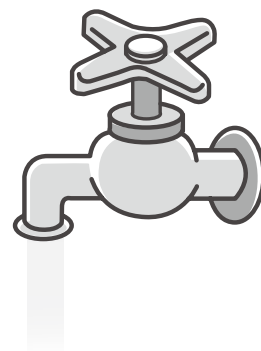
▼減免期間(申請受付期間)＝

平成31(2019)年4月1日から令和4(2022)年3月31日まで(3年間)

▼減免の対象となる方＝

以下の条件すべてに該当する、水道新規加入者

- ・井戸水等の自家用水道から町水道へ切り替える方
 - ・家事用として水道を使用する方
 - ・メーター口径が13mm、20mm、25mmの方
 - ・町税等を滞納していない方
- ※増径は対象外です。



▼減免の額＝

加入金の半額を減免します。

メーター口径	加入金の額(税抜)	減免額(税抜)
13mm	50,000円	25,000円
20mm	135,000円	67,500円
25mm	230,000円	115,000円

※上記の減免額に消費税を加えた額を減免します。

▼申請方法＝

給水装置工事の申請時に「上三川町水道事業加入金減免申請書」を上三川町指定給水装置工事業者に提出してください。申請書は上下水道課窓口及び町ホームページからも入手できます。

▶問い合わせ先＝上下水道課 上水道業務係 ☎ 9168

かみのかわ平成史 第5回 平成5年(1993)

第5回目のかみのかわ平成史は、平成5年に焦点を当てたいと思います。この年は、皇太子徳仁親王なるひとしんのう（現在の天皇陛下）のご結婚やレインボーブリッジの開通などがありました。また、「矢ガモ」騒動があったのもこの年でした。町内では、記念すべき「第1回いきいきかみのかわ祭り」が開催されたほか、上三川城址公園じょうしが上三川城本丸跡ほんまるにオープンしました。

いきいきかみのかわ祭りは、それまで別々に行われていた町文化祭、健康福祉祭り、農業祭、かみのかわふる里まつりだしやたいじゅんこう、山車屋台巡行を一元化し、町の一大イベントとして生まれたものです。秋も深まった11月の中頃、復活したばかりの山車屋台巡行ちごぎょうれつや稚児行列、バザー売店、展示発表、お祭り広場など町内の至るところで盛りだくさんのイベントが催されました。

上三川城址公園は、昭和61年から整備が進められ、この年の3月までにほぼ工事が完了し、4月にプレオープンしました。上三川城の本丸跡に整備されたこの公園は、築城当時の土塁どるいと堀ほりをうまく活かした作りとなっています。堀には地下から汲み上げた水が流れ、土塁の上は散策路になっています。公園内は芝生広場になっており、一角にはステージもあり、サクラやツツジの季節には、朱色と新緑の鮮やかなコントラストに彩られます。オープン直後には商工会主催による花まつりが開催され、地元商店街からの出店や歌謡ショーが行われ、町の新たな名所として活況を呈しました。

さて、お城というと立派な天守閣てんしゅかくを想像するかもしれま



城址公園へのアクセスマップ



桜の季節の城址公園

せんが、上三川城には天守閣はありません。なぜなら、上三川城は鎌倉時代から戦国時代にかけての城で、この頃には天守閣のような建物はありませんでした。本丸には平屋建てのいわゆる「館」やかたがいくつも建てられていたと考えられています。城の範囲は、現在の市街地がすっぽり収まるくらいであったと言われていますが、絵図面などの記録がほとんど残っていないため、実際のところよく分かっていない謎多き城なのです。

本町の歴史を見守ってきた城址公園を散歩しながら、歴史に思いを馳せてみるのも良いのではないのでしょうか。

また、お出かけの際は、マスクを着用し、3密を避け、帰宅後は手洗いうがいをしっかり行いましょう。

▶ 問い合わせ先 = 生涯学習課 生涯学習係 ☎ 56 9 1 5 9